北海道におけるクルーズ船誘致方針(素案) (概要)

資料 5

目的

本道へのクルーズ船の寄港を促進し、港湾を中心とし た北海道全体の地域振興、経済の活性化に繋げていく

基本方針

(1) 目指す姿

本道の強み、オリジナリティを活かしたブランド 化、北海道クルーズの定期・定点化



➡ 「北海道のクルーズ基地化」

○期待される効果 港の賑わい創出・地域振興・経済活性化

(2) 取組の基本方向

- ○クルーズ船の寄港促進
- ○日本船の道内発着クルーズの拡大 (長期展望)
- ○外国船の道内発着クルーズの定着
- ○定期・定点クルーズの実現
- ◇誘致推進の方向性
- ○船社や乗客のニーズを把握した、受入環境の整備
- ○船の大きさや港湾の規模に応じた、ターゲットの 選択と、誘致の展開

推進方策

○実現に向けた戦略

船社等への効果的な誘致活動の推進 ■戦略 1

(主な施策)

- ・国内外の船社等への訪問・プロモーション
- ・海外船社キーパーソンの招請
- ・海外見本市等への出展

など

■戦略2 受入体制の整備・充実

(主な施策)

- ・アクセス交通の確保及び交通機関等との連携
- ・観光事業者への観光メニューの提案
- ・港湾施設等のインフラ整備

など

■戦略3 誘致推進体制等の強化

(主な施策)

- ・誘致活動における関係者間の連携強化
- ・海外事務所等との連携

など

○クルーズ基地化に向けて

- ・道内発着クルーズの検討及びプロモーション
- ・定期・定点クルーズの検討

など

4 今後のスケジュール(予定)

- ・令和元年9月 パブリックコメント
- ・ 令和元年内 誘致方針策定